

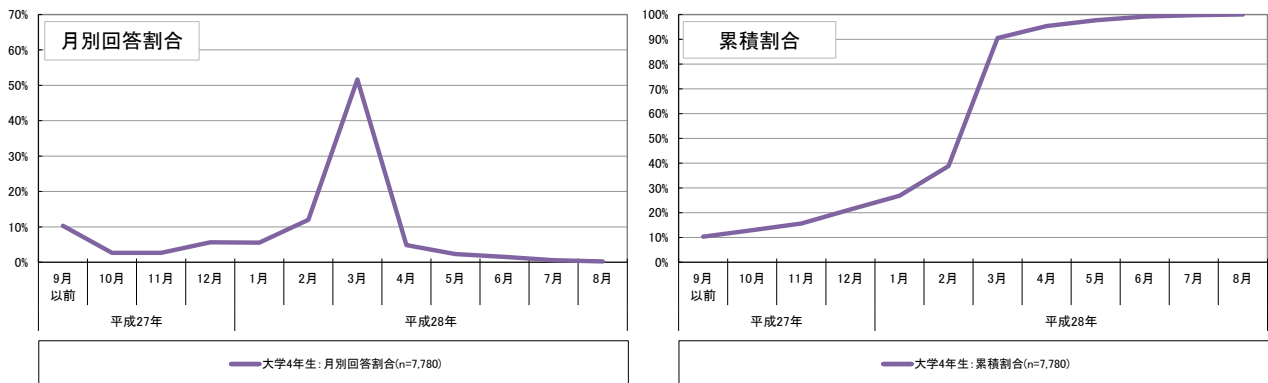
## (6) 就職活動の始まりと終わりの認識

### ①就職活動の始まりの時期についての認識

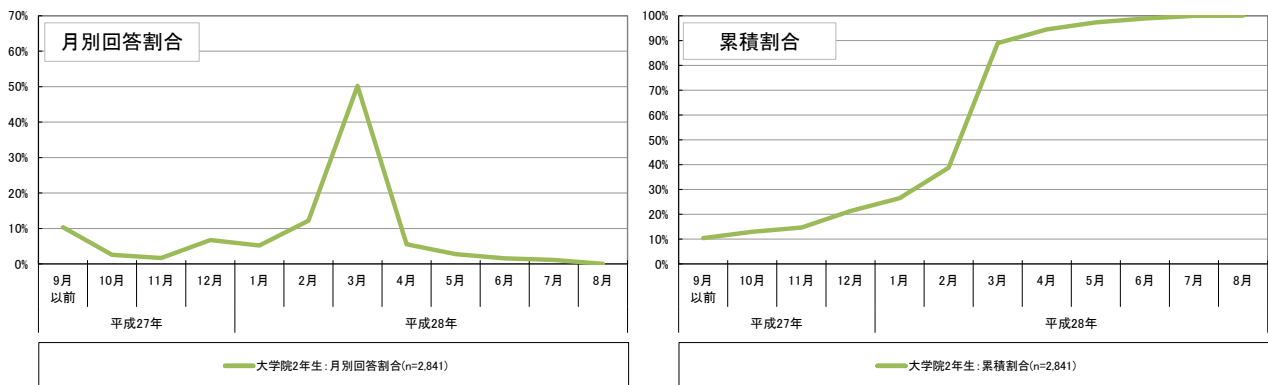
回答者自身の認識として、「就職活動が始まったと考える時期」についてたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに「平成28年3月」が5割以上と最も高くなっている（図表3-6-1～図表3-6-3）。

昨年度調査と比較すると（図表3-6-4、図表3-6-5）、「3月」と回答した割合は今年度が高くなっているが、2月以前と回答した者の割合は同程度である。

図表 3-6-1 大学4年生、就職活動が始まったと考える時期



図表 3-6-2 大学院2年生、就職活動が始まったと考える時期



図表 3-6-3 就職活動が始まったと考える時期（詳細データ）

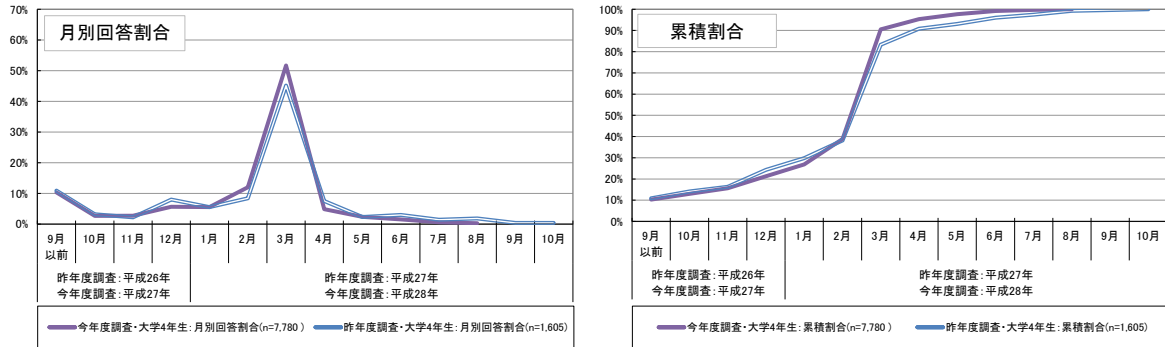
<大学4年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	10.3%	2.7%	2.7%	5.6%	5.5%	12.0%	51.7%	4.8%	2.3%	1.5%	0.6%	0.2%
累積割合	10.3%	13.0%	15.7%	21.3%	26.8%	38.8%	90.5%	95.3%	97.7%	99.2%	99.8%	100.0%

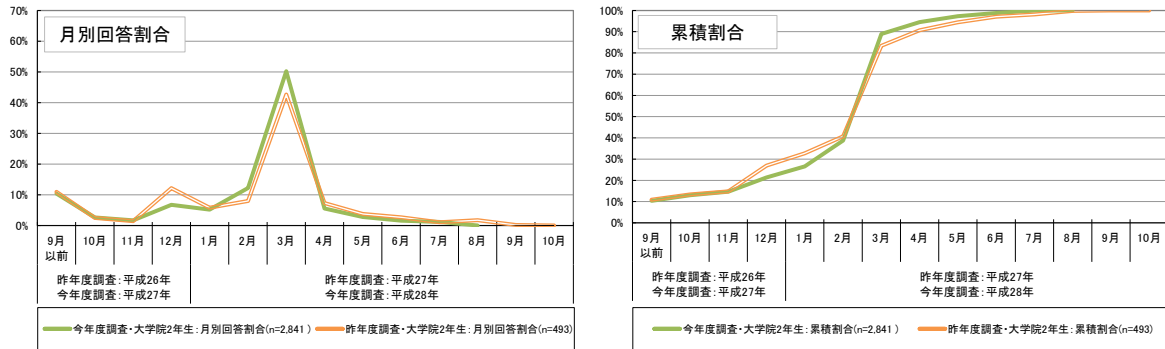
<大学院2年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	10.4%	2.6%	1.7%	6.7%	5.2%	12.2%	50.2%	5.5%	2.8%	1.6%	1.1%	0.0%
累積割合	10.4%	13.0%	14.6%	21.4%	26.5%	38.8%	89.0%	94.5%	97.3%	98.9%	100.0%	100.0%

図表 3-6-4 【参考・昨年度調査との比較】大学4年生、就職活動が始まったと考える時期



図表 3-6-5 【参考・昨年度調査との比較】大学院2年生、就職活動が始まったと考える時期



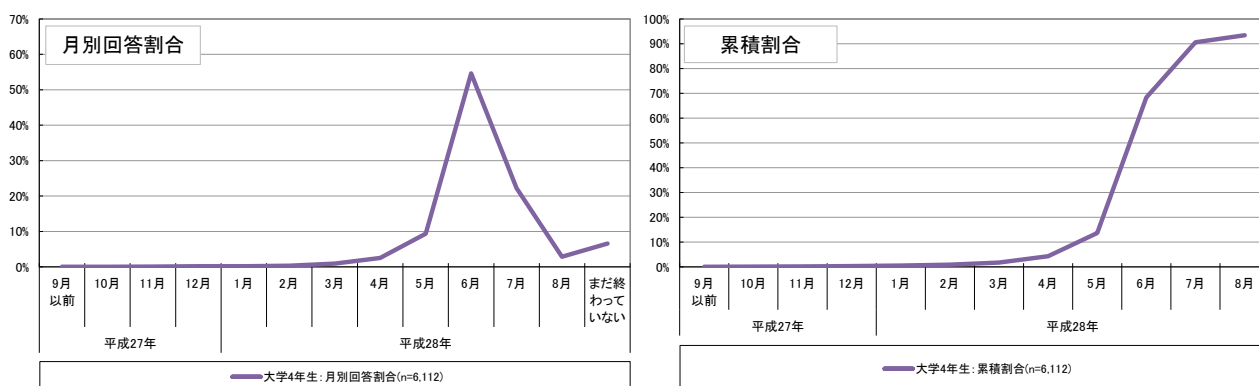
## ②就職活動の終わりの時期についての認識

平成28年8月1日時点で内々定を1社以上受けたと回答した者<sup>25</sup>に対して、「就職活動が終わったと考える時期」についてたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年6月」が5割以上と最も高くなっている（図表3-6-6～図表3-6-8）。

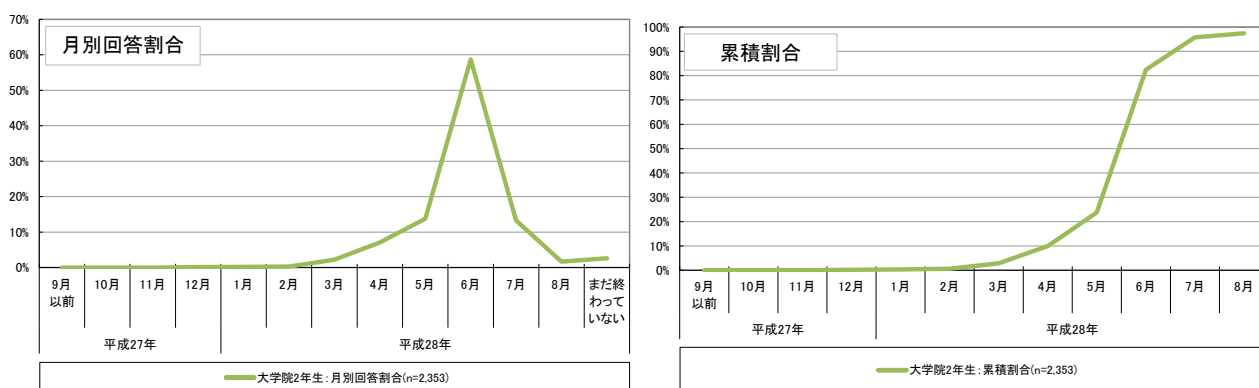
なお、累積割合<sup>26</sup>では、平成28年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは大学4年生で1割強、大学院2年生では2割強となっている。

昨年度調査と比較すると（図表3-6-9、図表3-6-10）、今年度は昨年度と比べてより早い時期を回答する者の割合が高くなっており、また、「6月」に回答がより集中している。

図表 3-6-6 大学4年生、就職活動が終わったと考える時期（公務員・教職員志望者除く）



図表 3-6-7 大学院2年生、就職活動が終わったと考える時期（公務員・教職員志望者除く）



<sup>25</sup> ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

<sup>26</sup> 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、「平成28年8月」の時点でも累積割合は100%にならない。（図表3-6-9、3-6-10においても同様）

図表 3-6-8 就職活動が終わったと考える時期（詳細データ）

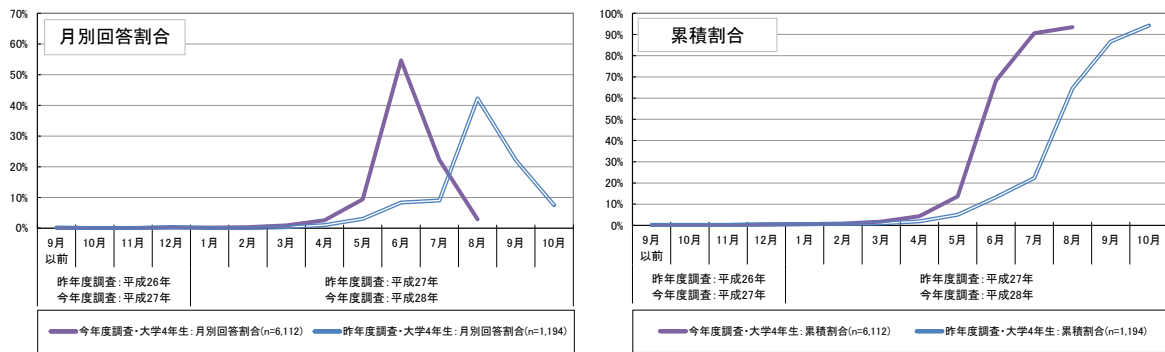
＜大学4年生、公務員・教職員志望者除く＞

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.9%	2.5%	9.4%	54.6%	22.2%	2.9%	6.6%
累積割合	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.5%	0.9%	1.8%	4.3%	13.7%	68.3%	90.6%	93.4%	—

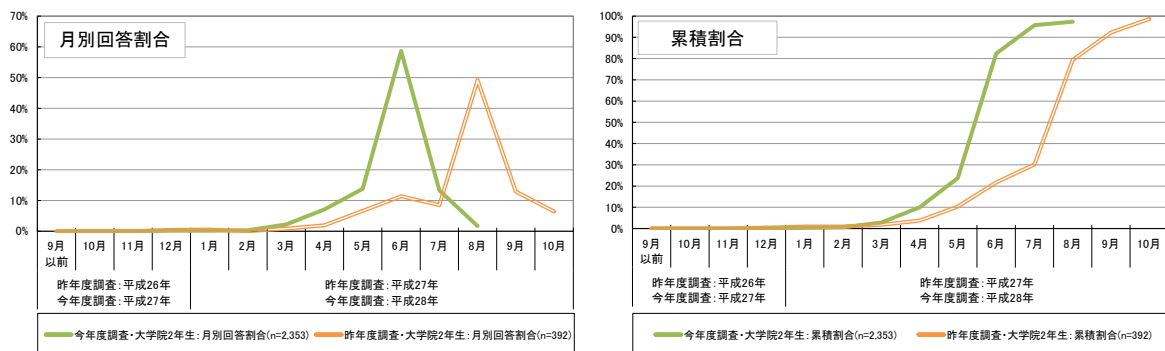
＜大学院2年生、公務員・教職員志望者除く＞

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	2.2%	7.1%	13.8%	58.7%	13.3%	1.7%	2.6%
累積割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.6%	2.8%	9.9%	23.7%	82.4%	95.7%	97.4%	—

図表 3-6-9 【参考・昨年度調査との比較】大学4年生、就職活動が終わったと考える時期（公務員・教職員志望者除く）



図表 3-6-10 【参考・昨年度調査との比較】大学院2年生、就職活動が終わったと考える時期（公務員・教職員志望者除く）

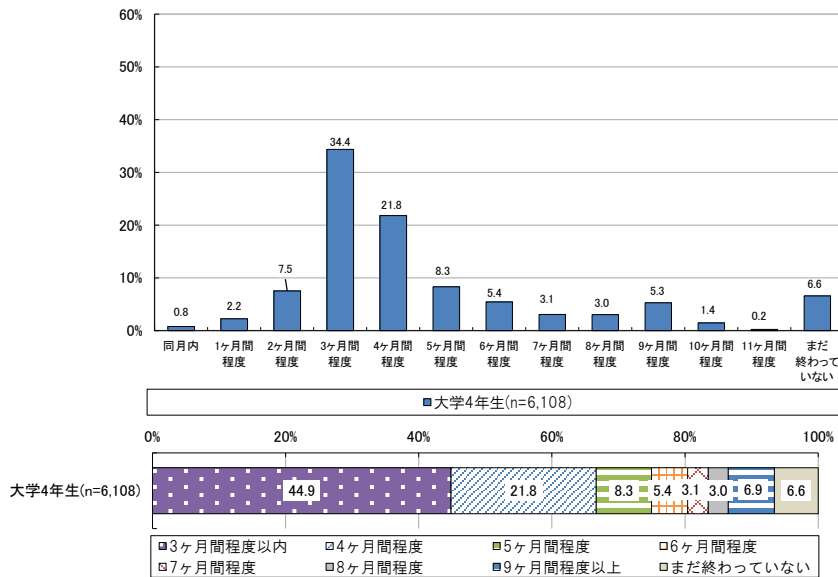


### ③就職活動の始まりから終わりまでの期間

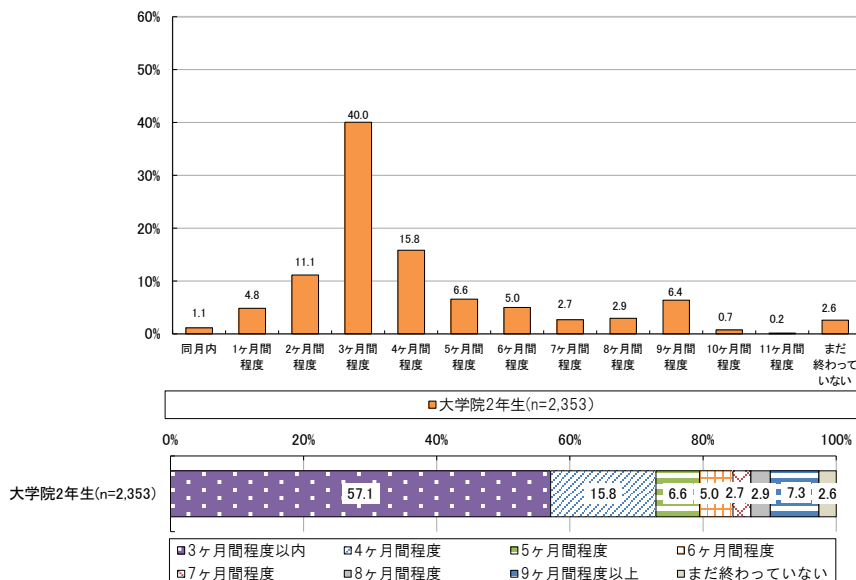
「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると<sup>27</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに「3ヶ月間程度<sup>28</sup>」の割合が最も高く、次いで「4ヶ月間程度」の割合が高くなっている（図表3-6-11、図表3-6-12）。

昨年度調査と比較すると（図表3-6-13、図表3-6-14）、全体として就職活動の始まりから終わりまでの期間が短くなったことがうかがえる。

図表 3-6-11 大学4年生、就職活動の始まりから終わりまでの期間（公務員・教職員志望者除く）



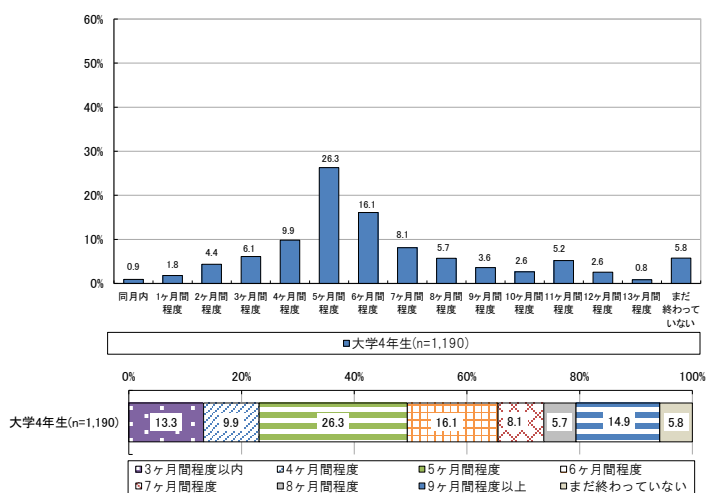
図表 3-6-12 大学院2年生、就職活動の始まりから終わりまでの期間（公務員・教職員志望者除く）



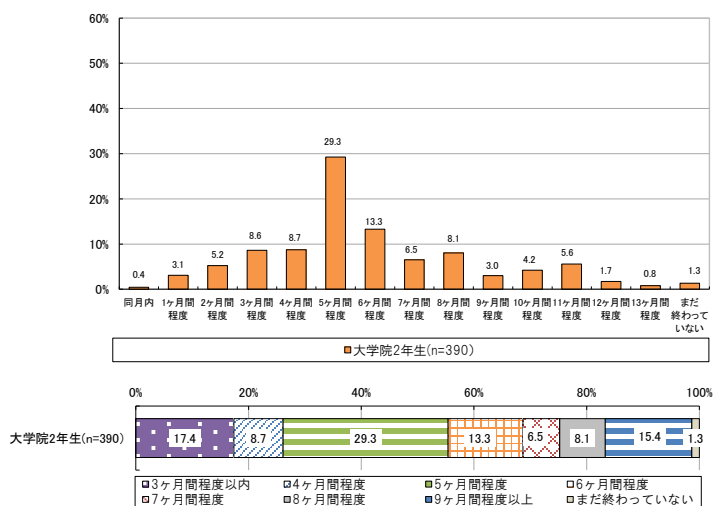
<sup>27</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

<sup>28</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

図表 3-6-13 【参考・昨年度調査】大学4年生、就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(公務員・教職員志望者除く)



図表 3-6-14 【参考・昨年度調査】大学院2年生、就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(公務員・教職員志望者除く)

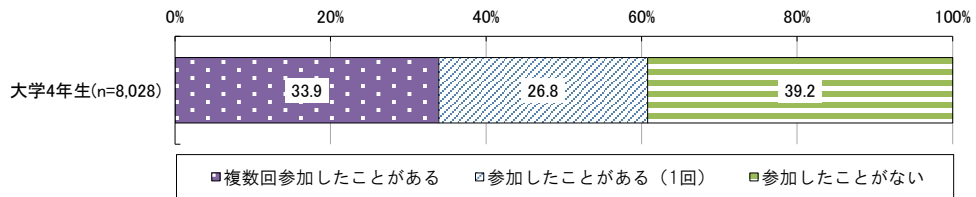


## (7) インターンシップの参加状況

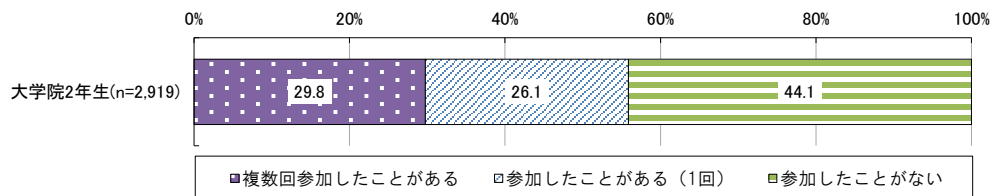
### ①参加の有無

インターンシップ<sup>29</sup>参加経験についてたずねたところ<sup>30</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、約6割が「参加したことがある」と回答している（図表3-7-1、図表3-7-2）。なお、それぞれ全体の約3割が「複数回参加したことがある」と回答している。昨年度調査と比較すると（図表3-7-3、図表3-7-4）、今年度は「参加したことがある」の回答割合が高くなっている。

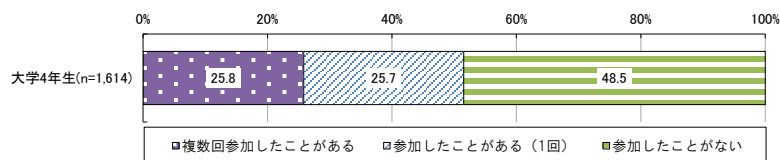
図表 3-7-1 大学4年生、インターンシップ参加経験の有無



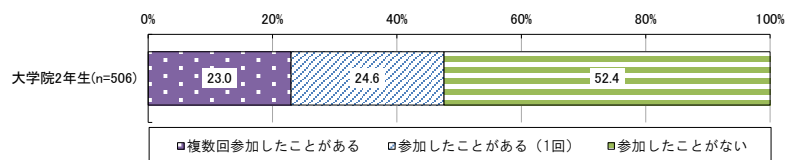
図表 3-7-2 大学院2年生、インターンシップ参加経験の有無



図表 3-7-3 【参考・昨年度調査】大学4年生、インターンシップ参加経験の有無  
(就職活動を行っていない者を除く)



図表 3-7-4 【参考・昨年度調査】大学院2年生、インターンシップ参加経験の有無  
(就職活動を行っていない者を除く)



<sup>29</sup> 文部科学省で実施されている調査では、教育活動の一環として（単位認定を行う授業科目において）実施したインターンシップについて回答することを基本とし、大学の掲示板や企業のHP等から、学生が各自で企業に連絡を取って申し込むようなものは対象としていない。一方、本調査では、単位認定の有無など特段の定義付けは行わず、学生が「インターンシップ」と認識したものについての参加状況等を回答してもらった。

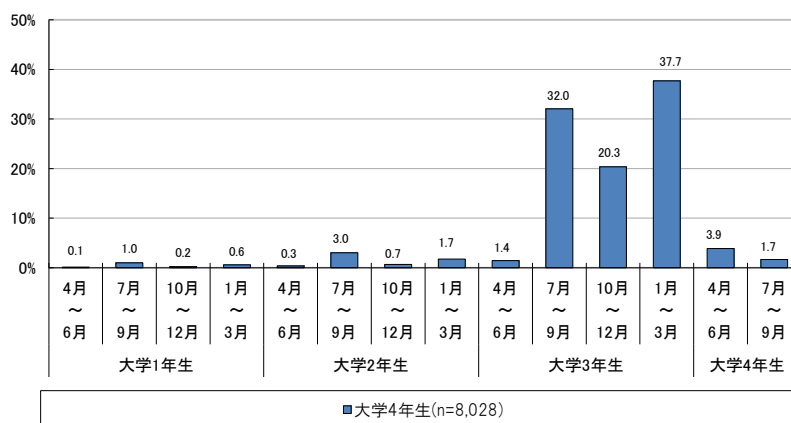
<sup>30</sup> 今年度調査の集計結果は、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外である。なお、昨年度調査では、就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。

## ②参加時期

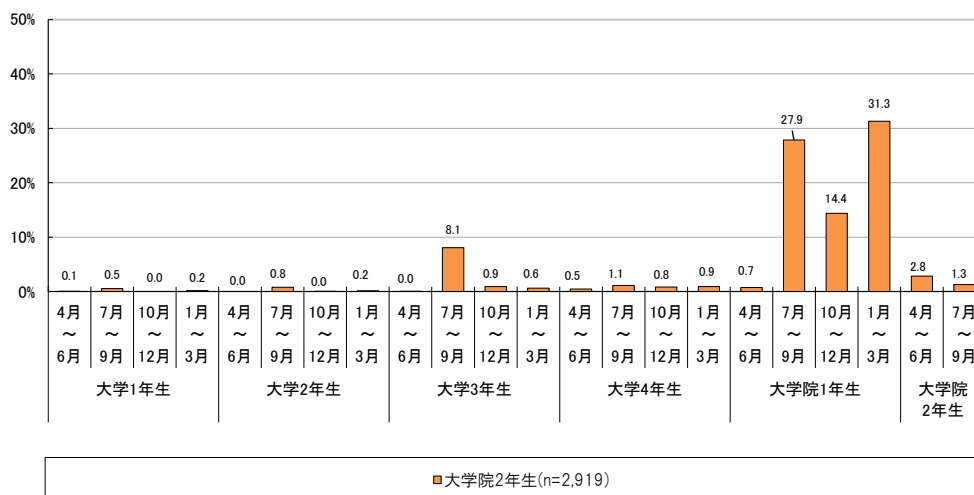
インターンシップ参加の時期についてみると<sup>31</sup>、大学3年生・大学院1年生の「1月～3月」の参加割合が最も高く、次いで大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の割合が高くなっている（図表3-7-5、図表3-7-6）。

なお、昨年度調査<sup>32</sup>では就職活動実施前年の「7月～9月」の参加割合が最も高くなっている（図表3-7-7、図表3-7-8）。

図表 3-7-5 大学4年生、インターンシップ参加時期（複数回答）



図表 3-7-6 大学院2年生、インターンシップ参加時期（複数回答）

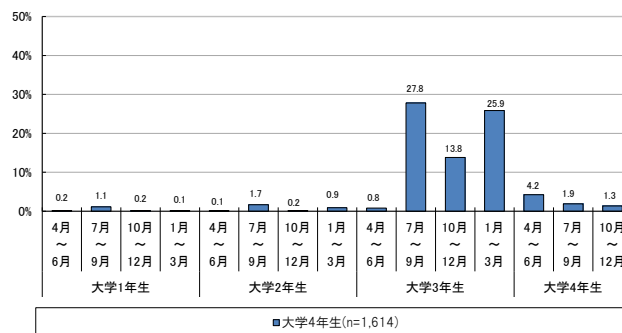


<sup>31</sup> ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

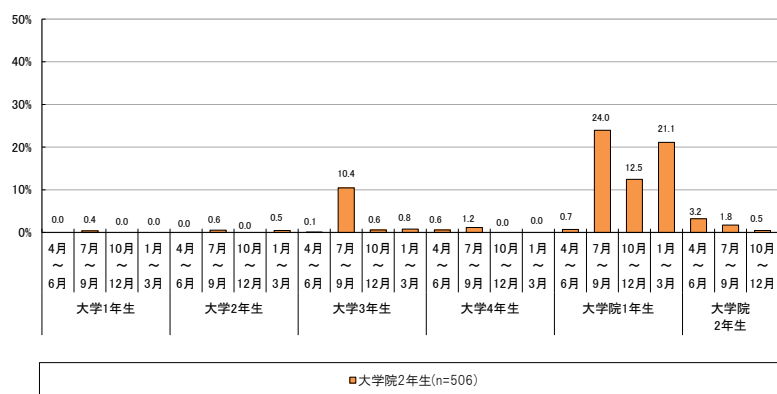
<sup>32</sup> 昨年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。



図表 3-7-7 【参考・昨年度調査】大学4年生、インターンシップ参加時期  
(就職活動を行っていない者を除く、複数回答)



図表 3-7-8 【参考・昨年度調査】大学院2年生、インターンシップ参加時期  
(就職活動を行っていない者を除く、複数回答)



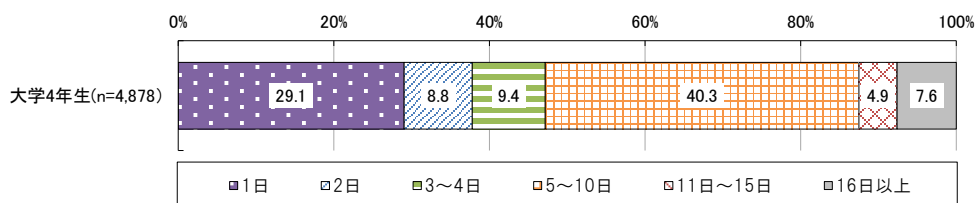
### ③参加日数

インターンシップ参加経験者の参加日数<sup>33</sup>についてみると、大学4年生・大学院2年生ともに、「5～10日」であった者の割合が最も高くなっており、次いで「1日」であった者の割合が高くなっている（図表3-7-9、図表3-7-10）。日数別でみると、「1日」と「5日」の回答が多くなっているが、大学4年生は「1日」がやや多く、大学院2年生は「5日」がやや多くなっている。

なお、大学4年生と比べて、大学院2年生のほうが、比較的長期間のインターンシップ参加経験がある者の割合が高くなっている。こうした傾向は昨年度調査<sup>34</sup>と比較しても共通している（図表3-7-11、図表3-7-12）。

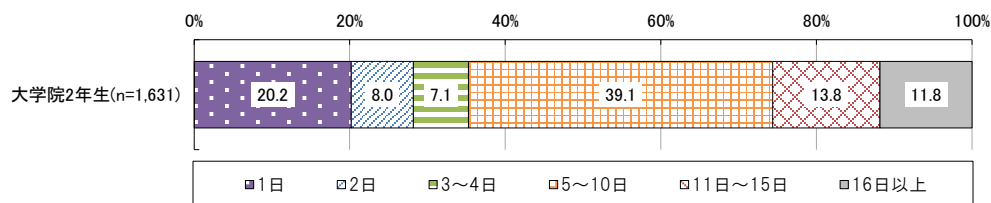
また、昨年度調査と比較すると、参加日数が「1日」であった者の割合は、大学4年生・大学院2年生ともに、今年度調査のほうが若干高くなっている。

図表 3-7-9 大学4年生、インターンシップ参加経験者のインターンシップ参加日数



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上
日数別回答割合	29.1%	8.8%	7.7%	1.7%	27.9%	1.6%	3.0%	0.9%	0.5%	6.4%	12.5%

図表 3-7-10 大学院2年生、インターンシップ参加経験者のインターンシップ参加日数

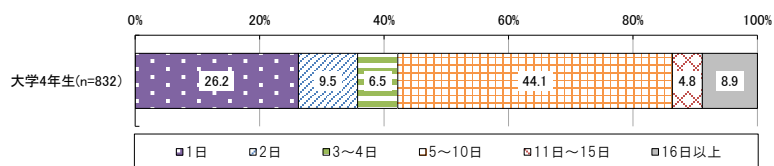


	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上
日数別回答割合	20.2%	8.0%	5.1%	2.0%	21.5%	0.8%	3.8%	0.4%	0.7%	11.8%	25.6%

<sup>33</sup> 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には最長の日数に関して集計を行った。

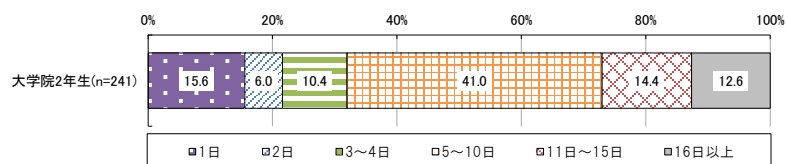
<sup>34</sup> 昨年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。

図表 3-7-11 【参考・昨年度調査】大学4年生、インターンシップ参加経験の  
インターンシップ参加日数（就職活動を行っていない者を除く）



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上
日数別回答割合	26.2%	9.5%	5.3%	1.2%	28.4%	1.1%	5.7%	0.3%	0.8%	7.7%	13.7%

図表 3-7-12 【参考・昨年度調査】大学院2年生、インターンシップ参加経験の  
インターンシップ参加日数（就職活動を行っていない者を除く）



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上
日数別回答割合	15.6%	6.0%	7.2%	3.2%	18.9%	1.0%	4.7%	0.7%	0.0%	15.6%	27.0%